

平成27年第4回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	12.4	通告者	7番	金野次男
1番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 青少年健全育成について</p> <p>平成24年度から「伝統文化の尊重」武道が必修科になり本市は保健体育科授業へ柔道・少林寺拳法を選択した。</p> <p>(1) 年間実施計画に基づき成果と今後の課題・安全管理について伺う。</p> <p>(2) 県・東北大会等上位入賞は弓道が多い。第二中学校へ弓道部を新設すべきではないか。(参考弓道部：高崎中55名、東豊中40名、多賀城中50名。11/29多賀城市武道祭参加)</p>					
<p>2. 防災対策訓練について</p> <p>地域防災計画に基づき、多賀城市総合防災訓練は5年に一度から毎年行なわれている。次のことについて伺う。</p> <p>(1) 国、県の防災月間に合わせ、月日を早期に市民へ周知徹底されたい。</p> <p>(2) 防災災害無線の再度音響点検・調査。</p> <p>(3) 生徒と地域住民のクロスロードについて。(本年東豊中体育館内で実施)</p>					
<p>3. 音楽祭について</p> <p>平成22年度から文化センターで陸上自衛隊東北方面音楽隊クリスマスコンサートが(23年除く24年は4月)行われている。多賀城市等が主催であるが、今後の運営に主催者が支援を強化すべきではないか。</p> <p>(過去22年～27年、多賀城市予算計上0円)</p>					

質問順	受付月日	12.3	通告者	3番	鈴木新津男
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 高橋近隣公園の計画について</p> <p>高橋雨水幹線が平成28年度中の完成予定と事業が進んでいます。その雨水幹線が完成すると次に高橋近隣公園の造成が計画されると考えます。高橋地区は、もともと七北田川が流れていて、たびたび氾濫して土砂が堆積してできた地区でもあると思います。そのような歴史の中で、もともと低地に現在の住宅が立ち並んでいます。万が一、七北田川が氾濫した場合に備えて、高橋近隣公園の設計には、一時避難ができるように1m程度のかさ上げを考慮していただきたいと考えますがお伺いします。</p> <p>2. 高橋仮設住宅の跡地利用について</p> <p>平成27年の6月定例会の一般質問の中で西部地区にシルバーヘルスプラザのような施設を考えていただきたいとの質問がございました。市長の答弁は、高齢者の方々の将来にわたっての必要な施設はどのようなものか、地域の方々や議会の皆様方からさまざまな意見をいただきながら進めていくとの答えがありました。その後の意見集約等は進んでいるのでしょうか。避難所等にも利用できるような施設を考えていただきたいと思います。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	8番	藤原益栄
3番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別
一問一答					
<p>1. 中央公園の駐車場について</p> <p>(1) 平成27年11月26日の説明会の際、課長より、平成28年度から駐車場の南北両側の広場を駐車場として使用する旨の回答があったと受け止めているが、それでよろしいか。</p> <p>(2) そうであるなら、より駐車場として利用しやすいようにするため、垣根を取り除いていただきたいが、いかがか。</p> <p>2. 新図書館をめぐって</p> <p>(1) 「利用者が使える面積の割合」について、現図書館が40%、新図書館が93%という数値が発表されたが、算出根拠と意図を説明されたい。</p> <p>(2) 選書および除籍について以下の点につき説明をいただきたい。</p> <p>①平成27年度の新規購入リスト作成の方針および留意点。</p> <p>②平成27年度の除籍の基準および留意点。</p> <p>③購入雑誌の大幅削減の理由。</p> <p>(3) 平成27年11月27日の東日本大震災調査特別委員会の際、個人情報を取り扱うCCCがプライバシーマークを放棄したことについて、課長は「それがすべてではない」と問題なしとの認識を示した。これは市教委の統一見解と受け止めてよろしいか。</p>					

質問順	受付月日	12. 4	通告者	14番	雨 森 修 一
4番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 総 括
<p>1. 交通安全道路の確保について</p> <p>主要地方道・泉一塩釜線と浮島街路4号線の交差する地点の交通安全対策について伺います。</p> <p>以前よりこの場所は交通事故多発危険箇所として問題化されてきました。しかし今日に至っても具体的な解決策が見えません。</p> <p>先日、宮城県警察本部交通部交通規制課を訪問し、早期事故防止対策として信号機新設を求めたのでありますが、県側の回答としては「泉一塩釜線のこの危険箇所については十分承知している。毎年宮城県下にて約600ヶ所に信号機新設要請がある。しかし年間30機を設置する予算的な事もあり検討していきます。危険度のより高い場所を選び順番に設置したい。1年後から2年後に新設の約束は出来ない」と話しがありました。</p> <p>そこで信号機の新設を待つ間、暫定的な事故防止対策はないのか、例として角地の住居者にお願ひし板塀の移動などの協力を求めるなどの取り組みについて伺います。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	1番	中田定行
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 汚水溢水問題について</p> <p>平成27年9月議会でも取り上げましたが、その後市長が県市長会で早急な対策を要求され、村井知事が「広域に調べる必要がある。必要な財源は確保する。」と答えた旨報道されています。報道によれば、県が近く対策会議を設置し、雨水の流入地点を調査する、対策会議で調査内容や応急措置を協議するというのですが、県や関係市長との話の内容を具体的にお示しください。応急対策としてどんなことが考えられますか。</p> <p>また、雨は調査結果が出るまで待っているということはないので、豪雨時の緊急対策が必要だと考えますが、具体的にどの様に考えているのかお伺いします。</p> <p>2. 生活道路の改善について</p> <p>(1) 認定道路になっていない生活道路で、周辺に公共施設等があり舗装してほしいとの要望がある場所について、要望に応える方策を考えてほしい。(八幡地域)</p> <p>(2) ミニ開発の団地で私道であるとの理由で震災での沈下カ所の復旧ができない箇所があります。沈下カ所は公共のマンホールのある場所なので、市としての対応が可能だと思われます。調査のうえ早急な対応をお願いします。(浮島)</p> <p>(3) 道路排水が悪く、雨のたびに自宅周辺が冠水して困るので何とか改善をお願いします。(浮島・城南)</p> <p>以上は、これまで何度か市にお願いしているが改善されていないというところです。それぞれに市として対応できないという理由があると思いますが、工夫することによって市民の要望に応えることが出来ないものでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	16番	昌浦泰巳
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 多賀城市役所の社会環境活動（CSR）の推進指針策定について</p> <p>(1) 市は自治体版CSRに関してどのようにお考えか、ご見解をお伺いします。</p> <p>(2) 市の社会環境活動（CSR）の推進指針を策定すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>					

質問順	受付月日	12.3	通告者	2番	戸津川晴美
7番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>新図書館について</p> <p>(1) 読み聞かせについて</p> <p>第46回東日本大震災調査特別委員会で示された資料（図面・パース）を見る限り、これで、はたして充実した読み聞かせ活動ができるのかと疑問を持ちました。そこで以下の3点について伺います。</p> <p>① 読み聞かせ室（コーナー）は、子どもたちがじっくり本に親しんで、本の世界に入りこめる、夢のある空間になっていますか。</p> <p>② コーナーの出入口は、開閉式になっていますか。</p> <p>③ 読み聞かせ活動は、どのように充実するのですか。</p> <p>(2) ブックスタートについて</p> <p>新図書館開館の記念事業として、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心ふれ合う時間を持つきっかけを届けるブックスタート事業を開始されてはいかがですか。</p> <p>現在、行っている「はじめての絵本」の紹介に加えて、1冊の絵本を赤ちゃんとその保護者にプレゼントし、合わせて新図書館利用や読み聞かせ会へのお誘いを行ってはいかがでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	11番	阿部正幸	
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について</p> <p>(1) 平成26年10月から予防接種法に基づき、高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種を実施しております。</p> <p>しかし、平成27年度は3009人の対象者に対して、9月末時点、本市で確認できている接種者は179人です。</p> <p>本市では平成27年度の対象者に対して、がん検診と並列表記で案内をしているので、対象者がわかりにくくなっています。高齢者肺炎球菌ワクチンの未接種者と思われる方に対して、高齢者の肺炎予防・健康増進という目的から、接種期限を含めたお知らせとして、個別通知をしていただきたい。</p> <p>(2) 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けることができる期間と、その期間の終了後の取り組みについて。</p> <p>2. 18歳選挙権の取り組みについて</p> <p>平成27年6月に成立した改正公職選挙法により、選挙権年齢が70年ぶりに20歳以上から18歳以上に引き下げられました。</p> <p>投票率を上げるために、20歳未満の方が政治への参加を高めるための取り組みと、どのように周知するか伺います。</p>						

質問順	受付月日	12.4	通告者	4番	江口正夫
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 市民参加のまちづくり推奨策の提言について</p> <p>今年、本市と友好都市10周年を迎えた福岡県太宰府市では、歴史的建造物の減少、風情を失わせる市街地環境の変化、伝統行事・文化の担い手の減少、歴史的風致に対する市民の低下等により観光客が減少傾向にあり、そのため、「百年後も古都太宰府の風景が映えるまち」をキーワードに、歴史とみどり豊かな文化のまちとしてのまちづくりを、市民、事業者、行政が連携して進めています。</p> <p>本市も、東北随一の文化交流拠点の創造に取り組んでおり、同時に悠久の歴史と伝統のまちづくりの具体化を進めている状況にあります。太宰府市のまちづくりのように、市民による市民遺産の提唱・認定制度、景観大賞の設定、官民主催の検定・認証制度等を設けて、市民がより積極的にまちづくりに参画する推奨施策を推進すべきと思いますし、そのバックアップ体制を整備すべきと思います。</p> <p>以下、質問いたします。</p> <p>(1) 市長は太宰府市のまちづくりの施策について、どのように受け止めていますか。</p> <p>(2) 太宰府市の市民遺産等の制度作り、検定の拡充支援について、どのようにお考えですか。</p> <p>(3) まちづくりの官民協働・連携の組織作りについて、どのようにお考えですか。</p> <p>(4) 景観・まちづくりに関する条例の制定について、どのようにお考えですか。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	12番	齋藤裕子
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 高齢者福祉と認知症対策について</p> <p>高齢化の進展に伴い、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりが急務です。政府が国家戦略として取り組む中、本市も様々な取り組みをされていることから、以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 認知症を正しく理解して認知症の人や家族の応援者になって頂く認知症サポーター制度の推進は、どのように取り組んでいますか。</p> <p>また、正しい知識を身に付けたサポーターが、実際に認知症の方の手助けをするための施策や取り組みをどのように考えていますか。</p> <p>(2) 認知症サポーターを養成する講師（キャラバン・メイト）はどれくらいの人数になっていますか。また講座の開催はどの様に進められていますか。</p> <p>(3) 高齢者の方による介護支援ボランティア制度を導入している自治体が増えています。高齢になっても心身ともに健康で、介護サービスを必要としない方も沢山いると思います。そのような方々に介護支援ボランティアをして頂いて、ポイントを付与するなどの制度を導入してはいかがでしょうか。認知症の予防にも繋がると考えます。</p> <p>(4) 高齢者の皆さんが自分の健康増進のために、市民プールを利用する方が増えていますが、利用料金が高いとの声も聞かれることから、今後見直す考えはありますか。</p>					

質問順	受付月日	12.4	通告者	13番	根本朝栄
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答

1. 子ども医療費の対象年齢拡大について

子ども医療費については、多賀城市を除く一市三町（塩竈市は28年度から実施）全てで中学校3年生まで入通院ともに拡大を図ることとなっていますが、高校3年生まで拡大を図る予定の町もあることから、子育て支援と若い子育て世代の定住策との観点から次の4点を伺います。

- (1) 子ども医療費の入院及び通院の対象年齢を「高校3年生まで拡大」を図ること。
- (2) 自己負担を求めることについては、この制度の目的である「経済的負担の軽減と医療機会の確保」と矛盾することから行わないこと。
- (3) 県で実施している「乳幼児医療費助成制度」の対象年齢の拡大について、強かに県に働きかけること。
- (4) 国においては、未就学児童まで医療費の自己負担分3割を2割まで負担軽減を図っていますが、小学校6年生まで対象年齢の拡大を図るよう、国に強く働きかけること。

2. 多賀城創生の戦略について

多賀城版総合戦略を10月に策定した結果、地方創生先行型（上乘せ分）の補助金5000万円の交付が決定したことは評価するが、市の総合戦略は既存の事業を中心とした戦略であることから、活力ある多賀城構築のため、新たな戦略を追加で策定する考えはありますか。

3. 岩切駅自由通路の計画について

長年の懸案事項であった岩切駅の南口自由通路については、仙台市において、明年から自由通路と橋上駅の建設を2ヵ年で計画していますが、その具体的計画内容について伺います。

質問順	受付月日	12.4	通告者	10番	森	長一郎
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 情報発信の充実について</p> <p>現在「歴なび多賀城」が活用されているが、公衆Wi-Fiスポットの設置により、観光やグルメ等のポータルサイト及び観光アプリケーションのコンテンツの充実だけに留まらず、住民向けの防災、福祉等地域情報発信のツールとしても活用、推進をされてはかがか（スマホ対応）。</p> <p>2. マイナンバー制度について</p> <p>来年1月から利用が開始されるマイナンバー制度について個人番号カードの交付体制整備が必要と考えるが対応を伺う。</p> <p>3. 福祉の向上について</p> <p>砂押川土手の散策路に、高齢者やリハビリで歩行訓練者の為のベンチの設置を願うが可能か。</p>						